

## 情報公開文書

研究課題名：AI 等の利活用を見据えた病理組織デジタル画像 (P-WSI) の収集基盤整備と病理支援システム開発 (他施設共同研究)

本研究は日本病理学会が主導で行う多施設共同研究になります。

本研究では当院にて P-WSI による遠隔術中迅速病理診断を受けた患者さんの画像等データを用います。具体的には、1) 病理診断情報 (病理診断, 採取臓器, 採取法, 所見), 2) P-WSI (病理デジタル画像), 3) 臨床情報 (性別, 年齢, 臨床疾患名, 臨床経過) を対象とし, いわゆる要配慮個人情報扱います。したがって研究にあたっては「匿名加工情報化 (改正個人情報保護法)」を行います。さらに各施設のゲートウェイ収集端末から集められた病理デジタル画像, 匿名化された診療情報は, ゲートウェイ制御サーバにすべて収納し, サーバ内で秘密分散化の手法により, 提出施設などが検出不可能な「バラバラの状態 (ジグソーパズルのピース)」にして保管いたします。加えて学会や論文で結果を発表する際には, 個人の特が直ちに可能な情報は全て削除します。

対象患者：当院にて P-WSI による遠隔術中迅速遠隔病理診断症例 50 症例程度

研究実施期間：倫理審査了承後～平成 30 年 3 月

倫理審査について：倫理審査委員会の審査をうけ, 研究機関長の許可を受けている

研究代表者：日本病理学会 (代表：深山正久理事長) <http://pathology.or.jp/>

本研究に関して, データの利用に同意されない場合には, ご本人, ご家族及び後見人の方からのご連絡により, どの時点でも研究対象外といたします。

なお, 本研究は過去の診療記録を用いて行うため, 該当する患者さんの現在・未来の診療内容には全く影響を与えず, また不利益を受けることもありません。これらの告知は HP で公開しており, 研究から除外になった場合でも, 将来にわたって患者さんが診療上の不利益を被ることはありません。

データ利用の目的と趣旨をご理解いただきますよう, よろしくごお願い申し上げます。

対応窓口, 研究責任者：

臨床検査病理部 管理部長 酒井 寿明

研究連絡先：

JA 長野厚生連 長野松代総合病院 臨床検査病理部 026-278-2031 (代表)